

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和4年3月30日（水）

2 確認箇所

Bタンクエリア

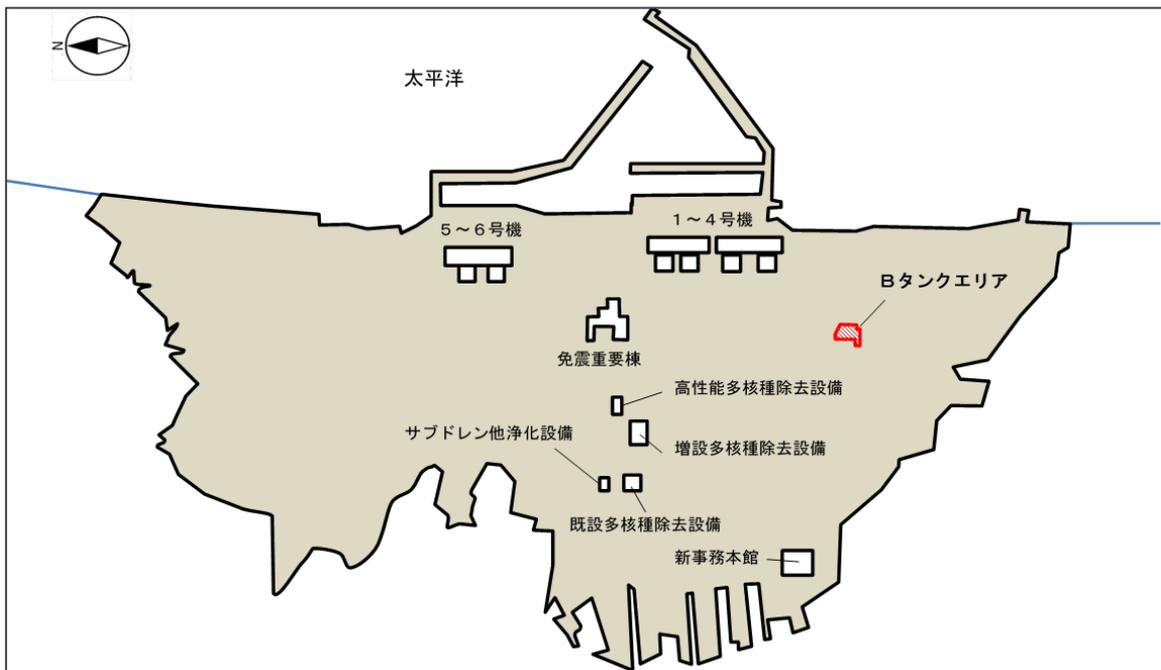
3 確認項目

地震発生後のBタンクエリアの状況

4 確認結果の概要

3月16日に発生した福島県沖を震源とする地震（マグニチュード7.3、立地町震度6弱）により複数のタンクエリアでタンクの位置ずれ等が発生したことが確認されている。本日（3月30日）は、そのうちの一つであるBタンクエリアの状況を確認した。（図1）（写真1）

- ・複数のタンクに被覆膜の剥がれがあることや堰床面の被覆膜に捲れた箇所があることを確認した。（写真2）
- ・タンク間に設置されている連結管の1箇所がメーカー推奨変位値を超過しており、保温材が取り外された状態で点検作業が実施されていた。なお、確認した範囲では連結管からの内包水の漏えいは認められなかった。（写真3）
- ・その他の連結管にも多少の位置ずれは確認されたが、いずれの連結管からも内包水の漏えいは認められなかった。（写真4）
- ・堰内の雨除けカバーの支柱とタンクを結合している箇所のボルトの破断が複数確認された。なお、東京電力によると補修を検討しているとのことであった。（写真5）
- ・東京電力によると、3月16日に発生した地震により、19箇所のタンクエリアで160基のタンクの位置ずれ（Bタンクエリアでは全37基中6基）が確認され、4箇所のタンクエリアでメーカー推奨変位値（偏心：150mm 伸縮：±50mm）を超過する連結管の位置ずれ（Bタンクエリアでは全11箇所中1箇所）が確認されたことから、今後、詳細な調査を行っていくとのことである。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1)
Bタンクエリア外観
(北東側から撮影)

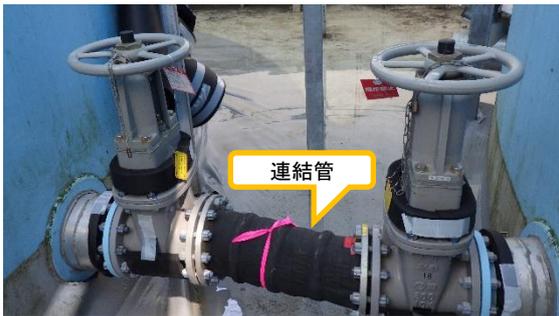


(写真2-1)
タンク下部の被覆膜の剥がれや
堰床面の被覆膜に捲れた箇所
の一例①



(写真 2 - 2)

タンク下部の被覆膜の剥がれや
堰床面の被覆膜に捲れた箇所の一
例②



(写真 3)

メーカー推奨変位値を超過した
連結管
(A 1 - B 1 タンク間)



(写真 4)

メーカー推奨変位値内ではあるが、
変位が確認された連結管（保温材に
覆われている。）
(B 1 - B 2 タンク間)



(写真 5 - 1)

堰内の雨除けカバーの支柱とタンク
結合部の状況の一例



(写真5-2)
破断して下部に落下したボルトの
一例

- 5 プラント関連パラメータ等確認
本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。